

■7/7 (水) 東奥日報

通塾生徒の学習保障 県に支援3項目要望
県学習塾協議会

新型コロナウイルスの感染が拡大する中でも子どもたちが塾で学べる環境をつくる必要があるとして、県内約30の塾でつくる県学習塾協議会(野々上隆会長)は6日、リモート授業をする機材整備費用への支援など、3項目の要望書を県庁で三村申吾知事宛てに提出した。

野々上会長が泉谷和彦・

新型コロナウイルス感染症対策に要望書を手渡しした。このほか、保健所管内だけではなく市町村別の感染状況の公表、講師・スタッフに対するワクチンの早期接種も要望した。県側は活用可能な支援金や、要望内容に関する現状の検討状況などを説明した。

野々上会長は「コロナ禍で通塾控えが起きているとして、「預かっているお子さんの保護者を安心させた」と支援の必要性を強調した。

(新村菜穂)

■7/7 (水) デーリー東北

リモート学習 県に支援要望
学習塾協議会

青森県学習塾協議会(野々上隆会長)は6日、新型コロナウイルスの影響により、学校で臨時休校などの措置が取られた場合に必要となるリモート学習に関する支援などを県に要望した。

野々上会長は、リモート授業を充実させるための機材準備が学習塾事業に大きな影響を与えかねないとして、「子どもたちにより良い環境で勉強してもらっために補助を検討してもらいたい」と訴えた。(千葉達也)

野々上会長ら3人が、県庁に泉谷和彦新型コロナウイルス感染症対策監と上沢謙一商工政策課長を訪ね、要望書を手渡した。

要望内容は▽市町村別の感染者の公表▽学習支援業に携わる職員に対するワクチンの早期接種▽リモート学習の設備設置に必要な資金支援の3点。

泉谷和彦新型コロナウイルス感染症対策監(右)に要望書を手渡す野々上隆会長(6日、県庁)

■7/7 (水) 陸奥新報

早期にワクチン 塾講師へ接種を
学習塾協、県に要望

県内の個人塾による県学習塾協議会(野々上隆会長)は6日、県庁で学習塾における新型コロナウイルス感染症拡大防止策に関する緊急要望を県に行い、塾講師に対する早期ワクチン接種を求めた。

要望内容は①新型コロナウイルス感染者の居住地の市町村別公表②子どもたちと接する学習塾職員への早期ワクチン接種③臨時休校や外出自粛の場合でも児童・生徒が学べるリモート学習環境への支援の3項目。

野々上会長は「保護者の皆さんを安心させられる環境を整えたい。子どもたちが新型コロナウイルスの影響で通塾を諦めるような事態を避けたい」と要望。

これに対して県は「感染者の今後の公表の在り方は市町村の意見を聞きながら検討したい」(泉谷和彦保健衛生課新型コロナウイルス感染症対策監)、「新たに始まる県の補助金も活用してほしい」(上沢謙一商工政策課長)などと答えた。

(下山和枝)

泉谷対策監(右)に要望書を手渡す野々上会長(中央)と野々上会長(中央)が、同協議会は1993年に設立され、現在は県内31の個人学習塾が加盟。各塾の学習支援授業で児童・生徒と接することから、新型コロナウイルスの影響を懸念する保護者も多く、今回初めて県へ要望した。

陸奥新報 2021年7月7日記事 (許諾済み)

青森県学習塾協議会

※著作権のため、内部資料閲覧のみに留めておいてください。